

小樽南ロータリークラブ会報



2022-2023年度R第2510地区目標

- クラブの将来像を打ち立てる
- より多くの会員の参加を得てクラブにおいて新たな事業に取り組む
- 青少年への支援を発展・充実させる
- ICTも利用して交流の輪を広げる

My Rotary
第2510地区ホームページ
ICT委員会Facebook
各委員会へのメール



地区クラブ奉仕委員会の目標

クラブの活性化のための
クラブに寄り添った活動!
クラブが主体!

- 例会場：オーセントホテル小樽 ●例会日：毎週金曜日12時30分
- 事務局：〒047-0032 小樽市稲穂2-15-1 (オーセントホテル内) TEL.0134-27-8080
- Club Homepage: URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

1960年創立
昭和35年2月5日

31

2023年 3月24日発行
通巻 第3003号

3月24日(金)のプログラム

- 卓話：(株)279 次田社長
(完全テレワーク型ケアマネ事業)

3月31日(金)のプログラム

- 夜間例会
米山奨学生歓迎会及び地区大会決起懇親会

4月 7日(金)のプログラム

- 地区大会実行委員会
鹿児島RC訪問報告

第31回例会報告(3月10日(金)) ●卓話：北海道新聞支社長 ガバナー補佐訪問

ロータリーソング【それこそロータリー】

ゲストスピーカー紹介

北海道新聞 小樽支社長 太田 智子様
第2510地区 第6Gガバナー補佐 吉田 聡氏

会長挨拶【山村会長】

今日は生憎の雨ですが、春うららを感じるきうきして
くる今日この頃ですが皆さんはいかがですか？

本日の例会プログラムに道新支社長で小樽RCメン
バーの太田智子様、第6グループガバナー補佐の吉田
聡様事務局の久津見真由美様ようこそお出で下さいま
した、心よりご歓迎を申し上げます。

本日は宜しくお願い致します。

来週鹿児島ロータリークラブの創立70周年記念式
典に行き参ります。令和2年2月8日に開催された
当クラブの創立60周年記念式典に鹿児島ロータリー
クラブから5名の方がお出で下さいました。それが
きっかけとなり令和2年10月2日に友好クラブとし
ての調印がなされお付き合いが始まっています。今回
15名のメンバーで行って来ます。60周年の小笠原会
長夫妻、斎田実行委員長夫妻、第48代廣瀬会長夫妻
初め松浦GE他8名です。帰りましたら詳細をご報告
させていただきます。

幹事報告

- 3月17日の例会は鹿児島RC70周年記念訪問の為
休会

委員会・同好会報告

【3月に結婚記念日を迎える会員】

6日 地山
10日 荒田



出席委員会

令和5年3月10日(金)

会員総数 54名 本日の欠席者 13名
石川、佐藤(友)、佐藤(勉)、斎藤(英)、田中、濱本、保知、
前川、松尾、宮川、村越、山下、山本
リモート出席 3名 桂、地山、見延

令和5年2月24日(金)

移動例会 100%

松浦ガバナーエレクト動向報告

- 3/13(月) ガバナーエレクトスタッフ会議
- 3/14(火) 地区ロータリー情報委員会
第6グループ座談会(松浦、斎藤、中山)

まごころ箱……いつも有難うございます！

第六グループガバナー補佐吉田様

山村会員…北海道新聞社支社長太田様、第6グループガバナー
補佐吉田様、補佐事務局くつみ様、本日はありが
とうございました。

斎田会員…本日で77歳になりました。

京谷会員…肺の手術をしてまだ7割程度の回復ですが、久しぶ
りの例会参加となります。よろしくお祈りします。

湊 会員…太田様、本日は卓話ありがとうございました。

荒田会員…本日、22回目の結婚祝い。

伊藤会員…妻の誕生に当クラブからプレゼントが届きました。
ありがとうございます。

佐藤会員…今日はサトウの日です。「砂糖」ですが…。

松浦会員…遅くなりました！

入金集計額 令和4.7.1~令和5.3.10 (27,500円) 合計 **910,000円**

◆吉田ガバナー補佐公式訪問 先日のIM国際スキー同好会が成功裏に終わったお礼をいただきました。

ブックスタート事業の報告

当クラブが協賛している小樽市ブックスタート協議会より下記の報告がありました。
工藤 左千夫

1. 令和4年度 配布数 393セット (R5年2月末現在)
2. 20年間 総配布数 12,744セット (R5年2月末現在)
3. セット内容
 - ①ブックスタート協議会パンフレット
 - ②『いないいないばあ』 童心社 定価770円
 - ③『くだもの』 福音館書店 定価990円
 - ④撥水性 本袋 単価660円
4. 総経費 (過去20年間/人件費含) 約3,815万円
5. その他、コロナ禍による影響など
 - ①令和2年8月より約1年間、感染拡大防止のため、10ヵ月健診が市内小児科へ。上記により、受診者数が減少した。
 - ②令和3年、10ヵ月健診が保健所に戻る。1歳半健診の際、セットをもらっていない親子にも配布する。上記により、実際の健診者数よりも配布数が多くなっている。
 - ③現在まで、セットの配布は保健師が実施。「のはらうた」による、読み聞かせ活動は行っていない。



卓話「小樽との縁」

北海道新聞 小樽支社長
太田 智子様

皆さん、こんにちは。北海道新聞社の太田です。本日はお招きいただきありがとうございます。小樽ロータリークラブに所属しています。本日は「小樽との縁」と題してお話をしたいと思います。

小樽に来てまず驚いたのは、駅前にはたくさん人が歩いていることでした。土日だけではなく平日に、観光客だけではなく市民の方が歩いています。道内あちこちに住みましたが、札幌以外で駅前がにぎわっていると感じる街はほとんどありません。函館は駅前に市民が買い物できるお店がなくなってしまいました。旭川は数年前にイオン駅前店ができて人が増えましたが、小樽の方がコンパクトな分、人がいるなど感じます。駅前に人通りがあると、初めて訪れた人でも街の活気を感じます。駅から緩い下り坂、まっすぐ先に海が見え、美しい景色が広がっているというロケーションも功を奏しています。

さて、着任あいさつにうかがった際、皆さん「小樽は初めてですか?」とお尋ねになりました。「はい、勤務するのも住むのも初めてです」と答えすと、「そうですか…」とちょっと残念そうなお顔をされる。また、「釧路、函館と勤務し、港町は小樽で3か所目です」とお話しした際は「小樽は商都です、ほかの街とは違います」と軽くお叱りを受けました。

小樽には何度も遊びに来たことがありまして、五香飯店の餃子がおいしかったとか、南樽市場の魚が新鮮で安いとか生活感満載の記憶があります。しかし、小樽と樺太の関係など、その歴史については全くと言っていいほど知りませんでした。小樽の歴史について書かれている書物を読み、なぜ小樽に運河があり石造りの倉庫があり、銀行がたくさん進出したのか、そして「小樽は商都」と言われた意味を理解しました。

鯉御殿より見た小樽の海は、沖にヨットが出ていて、海岸線は岬や崖で複雑に形作られ、太平洋の平坦な砂浜を見て育った私にはそれは美しい景色でした。

もうひとつ、小樽との縁が見つかりました。小樽への転勤を知らせた叔母から「お祖母さんも小樽にいたのよ、これも縁ね」と電話がかかってきました。初耳でした。「確か結婚式も小樽で挙げたはず。私、写真を見せてもらったことがあるわ」。父方の祖父父母は山形・庄内の出身で、祖父は鶴岡の旧制中学を出たあと札幌に来たのですが、今回、祖母も庄内の在から小樽にやって来たことがはっきりしました。昔、母が「おばあちゃんは、同じ庄内出身で歳も近いからおじいちゃんを紹介されて結婚したそうよ」と言っていたことも思い出しました。その時代、北海道に

移住した人たちにとって、同郷ということが信用や安心感を得るためにとても重要だったのでしょう。小樽に働きに来てオタモイに住んでいたようです。

北前船の時代から酒田-小樽には航路があり人の往来があったので、祖母が発展著しい小樽に仕事を求めて来たことも不思議ではないと思いつつ、10年近く前に10代の女性がよくこんな遠くまで働きに来たものだとも思っています。時代的には船ではなく陸路でやってきたのだと思います。残念ながらどんな仕事をしに来たのかまでは分かりませんでした。

「小樽出羽三山神社」がありました。車で写真を撮りに行きましたが、絶対にすれ違えないだろう山道の先にありました。あとこれは祖父父母と父、父の妹の家族写真ですが、どうもオタモイ遊園地のようです。ベンチに樽の文字があります。左手奥に写っている建物は龍宮閣ですよ。とても驚きました。多分、昭和12,13年ころではないかと思えます。さきほどの叔母に「小樽とのつながりをお話する機会があるので、何か他に思い出したら教えてください」といったところ、何枚か写真のコピーを送ってくれ、その中にありました。

「ロータリーで卓話を」とお話をいただいた際、「何を話せばいいのだろう」と頭を悩ませました。最初は社業に関することをと思ったのですが、新聞業界は急激なデジタル化の波にのまれ、最大で125万部あった朝刊部数が今や85万部を割り…といった、暗い話になってしまうのでやめました。多少ではありますが、小樽と縁があることを思い出し、そこから思いがけずファミリーヒストリーを追う機会ともなりました。

祖母が亡くなった時8か月だった妹の娘たち、ひ孫です。夏休みに小樽に遊びに来ました。地元では恥ずかしくて浴衣を着て外を歩けない、でも一度は着たいと持ってきたのですが、偶然堺町通りで「ゆかた風鈴まつり」をやっていて、二人ともご満悦です。オルゴール制作もやりました。夜は運河クルーズです。10代前半の姪たちは「小樽ってすごい遊ぶところがたくさんある!!夜でも遊べるなんて信じられない。うちの町なんて公園しか遊ぶところが無いのに」と感激していました。

余談ですが、この写真を見せた友人は「ここ、どこ?ヴェネツィア?」と真顔で聞いていました。本州の友人に「小樽に転勤することになった」と伝えると「え、小樽!遊びに行く!!」と言い、そして本当に遊びに来ました。すでに4人。函館の時は、「函館!遊びに行きたい〜」止まりでした。「行きたい」は単に願望ですが、「行く」には行動を起こす意思があります。小樽の力は絶大です。街の魅力は当然ですが、新千歳や札幌から近いという心理的な気軽さも影響していると感じます。すでに、ネットフリックスで「初恋」を見た友人から「ロケ地巡りをしたい」とか、小樽を拠点に「雪が溶けたらワイナリー巡りをしたい」「ニセコHANAZONOでジップラインをやりたい」という個人予約が入っています。ピギナーだからこそ感じる魅力、宝が、小樽そして後志にはたくさんあります。せつかくのご縁ですから、まずは友人知人にコツコツ小樽後志の魅力伝えていきたいと思えます。

地区大会実行委員会

27日に開催された顧問部会で決まった事。

- ①顧問部会の部長は便宜上 岡崎が兼務していたが、正式に福島会員が推薦され満場一致の中 顧問部会部長をお受け頂きました。
- ②高木先生より 救護室は市民会館とグランドパークホテル2カ所に必要だ
その場合私一人では手が回らず北野先生を顧問にして連携をしながら救護室に当たりたい。またコロナがこれ以上増えない事を願っている。
- ③RI会長代理には24時間使用出来る運転手付きの自動車を用意しなければならない。またRI会長代理と同期のバスタガバナーをエイドとしてお迎えから一緒に行動をして頂き、ホテルの部屋もRI会長代理はスイート、エイドのバスタガバナーは同じ階にお泊まり頂かなければならない。
- ④講演者のヤマザキマリさんは工藤会員からのお申し出により、迎えから食事まで全て面倒を見るとおっしゃられています。工藤先生も顧問部会に入れて、ヤマザキマリさんの情報を聞く必要がある。
- ⑤北野先生と工藤先生を実行委員長の岡崎が顧問部会にお誘いする
- ⑥出来れば今後色々な諸問題は小笠原幹事を通して話をして欲しい。窓口が幹事であれば、幹事から岡崎が聞くと言う形で両者に分ける事で岡崎スムーズにな流れが出来るかと、又チャットワークに書き込めば私も幹事も同時に見られるので顧問部会、各部長はチャットワークの登録をお願いします。